

平成24年度

# 「未来の京都創造研究事業」 成果報告会・交流会

＜日時＞ 平成25年3月19日（火）18時～21時

＜場所＞ キャンパスプラザ京都 2階ホール（成果報告会）  
4階第4講義室（交流会）

「未来の京都創造研究事業」は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力し、より実践的に政策に反映するための調査・研究を行うとともに、若手研究者の発掘・育成とネットワーク形成を目指し、昨年度から京都市と公益財団法人大学コンソーシアム京都が開始した事業です。

このたび、今年度実施した6件の調査・研究テーマの成果を広く発信するとともに、大学や研究室の枠を超えた研究者同士の交流や研究者と市民、行政職員等の交流を図るため、成果報告会・交流会を下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

## 1 成果報告会：18時～20時（1件当たり15分程度）

調査・研究代表者	調査・研究テーマ	
斎藤 真緒 (立命館大学産業社会学部・准教授)	「家族介護者の仕事と介護が折り合う環境(ワーク・ケア・ライフ・バランス)の実現に向けた支援策の提供」	介護者支援に向けた行政ができる企業・地域支援策を提言！
真下 美弥子 (京都精華大学人文学部・教授)	「四地域を通して考える地蔵盆 ～ 世代間の伝承構造と地域コミュニティでの機能～」	京都で身近におこなわれる「地蔵盆」の果たす役割とは？
前田 昌弘 (京都大学大学院工学研究科・研究員)	「地蔵盆の運営実態と地域のレジリエンス向上に果たす役割に関する研究」	
三保 延子 (同志社大学経済学部・助教)	「京野菜(地場農産物)でつながる洛中洛外ネットワーク：地産地消の過去・現在・未来」	「振り売り」や直売所の現状と今後の可能性を探ります！
井上 学 (平安女学院大学国際観光学部・准教授)	「修学旅行の訪問先が大学進学に与える影響の分析と大学の魅力発信の方策 ～ 修学旅行生および大学在校生に対するアンケート分析等を事例として～」	修学旅行生を将来の京都の大学生に！
加藤 政洋 (立命館大学文学部・准教授)	「二条駅周辺の再開発とまちづくり ～ 『立地創造』の視点から～」	現地調査を基に新たな「まちづくり」の可能性を探ります！

## 2 交流会：20時～21時

研究者と市民、行政職員等との交流を深める場として、研究テーマごとに分かれて意見交換を行います。

## 3 参加方法

成果報告会：どなたでも参加できます。事前申し込みもありません。

交流会：どなたでも参加できますが、3月15日(金)までに以下のE-mailまたは電話でお申し込みください。

【問い合わせ先】公益財団法人 大学コンソーシアム京都 シンクタンク事業：水田、鳴海

E-mail : [mirainokyoto@consortium.or.jp](mailto:mirainokyoto@consortium.or.jp) Tel : 075-708-5803

## 研究テーマの概要

### 継続課題

「家族介護者の仕事と介護が折り合う環境（ワーク・ケア・ライフ・バランス）の実現に向けた支援策の提供」 立命館大学産業社会学部：斎藤准教授

昨年度の本事業の研究で行った企業および労働者アンケート結果を基に、家族介護者への支援として行政ができる企業支援と地域支援の具体的な方策を提言します。

### 指定課題

「地蔵盆の運営実態と地域のレジリエンス向上に果たす役割に関する研究」

京都大学大学院工学研究科：前田研究員

三つの元学区（有隣学区、待賢学区、城巽学区）における地蔵盆を対象に現地調査やアンケートを通して、地蔵盆の意義の再評価とレジリエンス（あるシステムがその特徴を維持しつつも変化や不確実性に対応する能力）の向上に地蔵盆が果たす役割を明らかにします。



### 指定課題

「修学旅行の訪問先が大学進学に与える影響の分析と大学の魅力発信の方策 ～修学旅行生および大学在校生に対するアンケート分析等を事例として～」

平安女学院大学国際観光学部：井上准教授

京都における「大学」と「修学旅行」との関係性を、修学旅行生および現在京都の大学に在籍する学生へのアンケート調査により明らかにすることを目的とします。また中小規模の大学が修学旅行生に対して大学の魅力を発信する方策も検討します。

### 指定課題

「四地域を通して考える地蔵盆 ～世代間の伝承構造と地域コミュニティでの機能～」

京都精華大学人文学部：真下教授

4町内（上京区武者小路町、東山区西之町、中京区今新在家西町、左京区東大路高野第三住宅）の地蔵盆の現地調査を行い、各町の行事の機能や有効性とともにより地蔵盆の継続・復活の意義や方法を明らかにします。

### 自由課題

「京野菜（地場農産物）でつながる洛中洛外ネットワーク：地産地消の過去・現在・未来」

同志社大学経済学部：三俣助教

地産地消の観点から、京都市内を中心とした地場農産物（京野菜）の生産・流通・消費の歴史と、「振り売り」や「直売所」を中心とする現状分析を通して、かつての洛中洛外のように農産物によって結ばれる食のローカルなネットワークの再構築について検討します。



### 自由課題

「二条駅周辺の再開発とまちづくり～『立地創造』の視点から～」

立命館大学文学部：加藤准教授

二条駅周辺における再開発の一連の動向を、既存の立地不利を克服して好条件へと転換する「立地創造」の過程として捉えることで、まちづくりの新たな可能性を探究します。

